

ああ 流れる血は 滲み 歪み
混ざり合うこともあるのでしよう
今にも消えそうな光辿り
知るのは僕らが何も知らないってこと

揺り動かされて 謳い繋ぎ
息絶えることもあるのでしよう
重ね合わせても 一つ二つ零れ落ちていく
微睡み 繭がまた夢の中

ヒトよ掲げた旗を継るな
己が吞まれ 潰れようとも
千代に伝ふや
果てに託した御伽噺が叫び続ける

崩れる躰 溶け行く心
踊る骸と動かぬケモノ
生贄の席 裏返る罪
知れども進み続けるのなら
君の名前を僕が貰うよ
僕の名前を君にあげるよ
軋む大地に 枯れる枝葉に
ここで唄うよ
また逢う日まで

夜は来たりて 傷は痛んで
万斬り捨て 踏み場など無く
結べ左手 貫け右手
折れぬ未来へ撃ち抜いて
生き抜いて

ヒトよ掲げた旗を継るな
友の足跡 見失おうと
千代に伝ふや
ここが最果て
御伽噺を迎えに行くよ
何処へだって